

オープンサイエンスの深化と推進に関する検討委員会
(第 24 期・第 3 回)

議事録 (案)

1. 日時 平成 31 年 3 月 28 日 (木) 10:00-12:00

2. 会場 日本学術会議 6 階 6-C (2) 会議室

出席者(五十音順、敬称略): 相澤 清晴、安達 淳、喜連川 優、澁澤 栄、
高木 利久、林 和弘、引原 隆士、村山 泰啓、渡辺美代子
オブザーバ参加: 青木 学聡 (京都大学)、山地 一禎 (NII)

3. 議題

1. 前回議事録確認
2. 情報提供 1 (澁澤委員)
3. 情報提供 2 (京都大学 青木学聡准教授)
4. その他

4. 配布資料

資料 1 第 2 回議事録案

資料 1-2 (非公開)オープンサイエンスの深化と推進に関する検討委員会(第 2 回)

資料 2 「農業情報共有のとり組み例」(澁澤委員)

資料 3 「大学における研究データ管理環境整備の課題」(青木准教授)

5. 議事

1. (議事録確認) 前回議事録案を承認した。
2. (情報提供 1) 澁澤委員から、資料 1 に基づき、農業分野で行ってきたデータに関する活動について発表があった。主な点は以下の通り:
 - 記録に基づく科学的な農場管理として精密農業を推進してきた。精密農業の実例について紹介。
 - 農業情報を多面的に利活用し、産業競争力を加速することを進め、農林水産物の輸出の 1 兆円を達成する活動について説明。
 - 農業に関する情報の標準化と公開システムを提案した。
3. (情報提供 2) 青木准教授から、資料 2 に基づき、京都大学における研究データ管理について発表があった。主な点は以下の通り:
 - 研究公正とサイエンス推進のスキームの広がりのもとで大学の中で研究データ管理部門の役割を詳細化した。
 - 学術機関における研究データ管理プラットフォームの例としてエジンバラ大学、

ゲッチンゲン大学、カリフォルニア大学、オーストラリアの ANDS でのシステムや制度論、活動状況について説明された。

4. (その他) 委員長から、次回の委員会での議論について案が出された。

以上